



2025年度 ものづくり大学特別公開講座

# 埼玉県産木材イノベーションフォーラム

–建築デザインとサプライチェーンが拓く地域産業の新戦略–

2026年

2月26日(木)

開演：14:00～16:30

会場：渋沢MIX

(さいたま市大宮区吉敷町 4-262-18 ekism さいたま新都心 5階)



## 第1部 基調講演①

- 地域木材が拓く建築とデザインの未来  
講師：武蔵野美術大学教授 若杉 浩一氏

<プロフィール>  
1959年生まれ、熊本県天草市出身、1984年九州芸術工科大学（現、九州大学）芸術工学部工業設計学科卒。プロダクト、インテリア、建築、デザイナー  
株式会社内田洋行入社、デザイン、製品企画、知的生産性研究所テクニカルデザインセンターで製品開発と研究開発を行い、2013年、内田洋行のデザイン会社であるパワープレイスにて、ITとデザインのメンバーを集めリレーションデザインセンター設立。一方で、デザインの社会的意義を求め、2002年から、私の活動で地域や社会のデザインを実践、「日本全国スギダラケ俱楽部」を設立。2019年4月、武蔵野美術大学造形構想学部クリエイティブイノベーション学科の教授として着任。地域社会とデザインの未来を模索し、実践、研究している。

## 第2部 基調講演②

- 森林資源を価値化するサプライチェーン戦略  
講師：古川ちいきの総合研究所 代表 古川 大輔 氏

<プロフィール>  
地域再生／林業再生コンサルタント。総務省登録・地域力創造アドバイザー。新潟県生まれ、東京都町田市育ち。  
東京大学大学院時代に地域づくりインターン（旧国土庁）の経験を経て、全国の農山村地域を巡る。(株)船井総合研究所、アミタ持続可能経済研究所、(株)トビムシを経て、2012年に(株)古川ちいきの総合研究所を設立。2022年、国産材のgallery新拠点「ちいきの BAR 鮎」をオープン。著書に、2014年「森ではたらく！27人の27の仕事（学芸出版社）」と、2025年「森林ビジネス（クロスマディア社）」がある。

**受講無料  
定員 50名**

参加申込み・  
詳細はこちら ➔

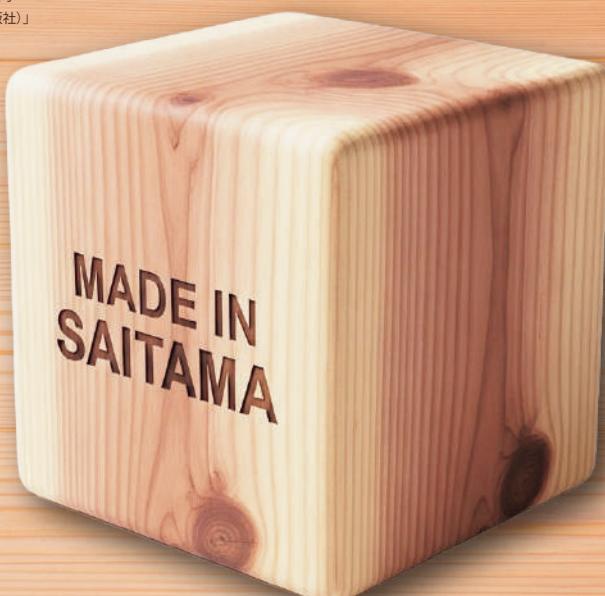


※お申込み受付期間  
2/20（金）まで



## 第3部 パネルディスカッション

- テーマ：埼玉県産木材をもっと活かすために
  - ・武蔵野美術大学教授 若杉 浩一氏
  - ・古川ちいきの総合研究所 代表 古川 大輔 氏
  - ・株式会社 ウッディーコイケ 常務取締役 小池 啓友 氏
  - ・さいたま家づくりネットワーク 事務局長 星野 敏之 氏
- コーディネーター/ ものづくり大学 地域木材・森林共生研究センター長  
戸田 都生男（建設学科 教授）



埼玉県では、県産木材の利用拡大と森林資源の循環を図る「活樹」が進められています。

ものづくり大学も「地域木材・森林共生研究センター」を設立し、地域資源の新たな可能性を探求しています。

本講座では、建築・デザインやブランド化・市場戦略の視点から埼玉県産木材の市場性を提示するとともに、

林業から建築、流通までをつなぐ産業界の協働により、地域資源を強みとした持続可能な競争力の構築を目指します。